

信用金庫の合併影響について

秋田県立大学 亀ヶ盛 弘祐・宮本道子

要約

本研究は民間金融機関でもっとも合併が多かった信用金庫を対象に合併による影響が非合併金融機関と比較して有効なものかを検証することを目的としている。その結果、費用面に関しては合併効果により軽減される可能性がみられた。特に合併の1年前後で効果が表れており、費用面では短期的に効果が示される可能性が見られた。一方、収益面については非合併信用金庫の方が優れている面があり合併により規模が拡大することによって、収益が上がりにくい体質になったのか、拡大した資産を有効活用できていないために合併信用金庫が財務面で劣る結果になったのではないかと考えられる。収益面に関する合併効果は費用面のように短期間で効果が表れるものではなく長期的に表れるものである可能性が見られた。